

信州大学 地(知)の拠点整備事業「信州アカデミア」 | 主催：信州大学 / 共催：長野県、長野市、松本市、上田市、伊那市、南箕輪村 / 協力：信濃毎日新聞社

COC H26年度 プロゼミ受講生募集中！～10/14まで！！

Center of Community

北信地域
中山間
地域の
未来学
I

中・東信地域
芸術
文化
の
未来学
I

南信地域
環境
共生
の
未来学
I

5. 信州大学 地（知）の拠点整備事業「信州アカデミア」

大学等が自治体等と連携し、
地域を志向した「教育・研究・地域貢献活動」を
一体的・全学的に進める取り組みを支援する事業

課題解決に資する人材や情報・技術が集まる

地域コミュニティにおける知の中核的存在

「COC (Center of Community) 」

としての大学の機能強化を図る

信州大学が取り組む3つの地域課題(優先課題)

県・市町村との連携協定等の地域との対話の中から抽出された地域課題に基づきテーマを設定

1. 中山間地域コミュニティの未来 (モデル地区：長野市)

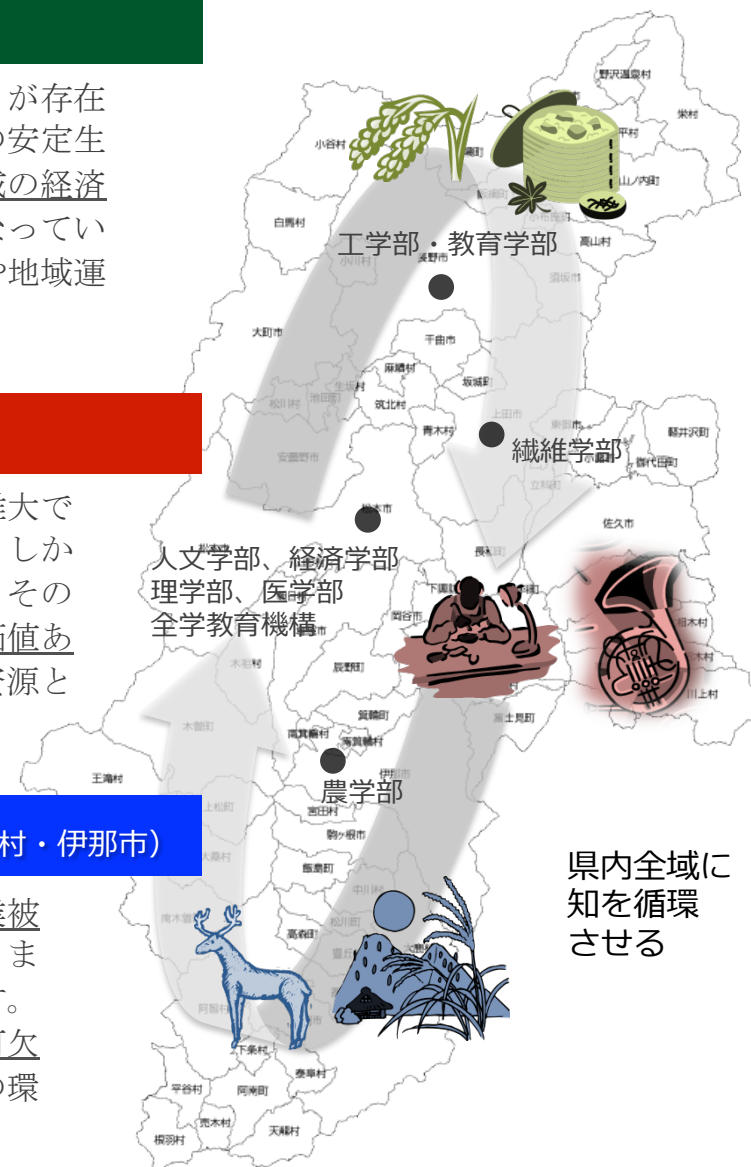
3つの日本アルプスをはじめ、高い山々に囲まれた長野県は多くの「中山間地」が存在します。「中山間地」は、農林業だけでなく、森林保全や水の涵養など平野部の安定生活に寄与する重要なエリアです。しかし、基幹産業となる農林業の衰退は、地域の経済活動や生活・文化・自然環境の悪化をもたらし、コミュニティの存続も課題となっています。本事業では、これらの状況を客観的に分析し、新たな活路を見出す人材や地域運営の効率化などを戦略的に判断する人材を育成します。

2. 信州の歴史・芸術文化の未来 (モデル地区：松本市・上田市)

長野県は、美術館や美術館、博物館などの施設数が日本で最も多い地域です。雄大で豊かな自然環境の中で多くの芸術・芸能活動、歴史・風土が育まれてきました。しかし、これらの素晴らしい文化的資産を保存・維持するためには負担も伴います。そのため我々の日常生活、教育、経済活動等と繋げて積極的に活用し、多くの人に価値ある地域資産として認識してもらうことが必要です。本事業では、信州の文化的資源と様々な分野の連携を促進し、新しい地域の価値を創造する人材を育成します。

3. 人と動物・自然環境の共生する未来 (モデル地区：南箕輪村・伊那市)

近年、長野県内の至るところでシカやイノシシ、クマなどの野生鳥獣による農業被害や森林被害が生じています。里山の整備や鳥獣のモニタリング・被害防止策、また個体管理やジビエ等の資源活用など、原因分析や様々な対策が行われています。しかし、これらの活動は個々ではなく、地域全体としての視点・連携が必要不可欠です。本事業では、農林業から産業、さらには教育・文化とも連携し、次世代の環境共生文化、エコシステムを創造する人材を育成します。



1.課題解決知の形成

研究開発

- 中山間地コミュニティの未来
- 歴史・芸術文化とまちづくりの未来
- 信州の「環境共生」

地域課題に対応して
研究成果を再整理
(学部・分野横断的に)

- 信州の「健康長寿」（今後）
- 信州の「地域国際化」（今後）

カリキュラム構築

地域との協働

カリキュラム構築

2.人材育成フェーズ

地域貢献（地域教育）

社会人の学び直し・経験知の体系化と行動力アップ

地域戦略プロフェッショナル・ゼミ

- ・地域課題解決のパイオニア人材の育成
- ・高度専門職人材の育成（大学院進学）
- ・地域コーディネーターの育成

- ・地域講師
- ・フィールド

相互の
連携教育

- ・地域学習
- ・知の実践

大学院教育 …アカデミアTA講師・運営参加

学部教育 …信州の地域課題をテーマとした
高年次教養教育等の充実

共通教育 …自治体や地域講師による
「地域課題実践授業」の導入

地域志向（活用）強化プログラム

信州の地域課題を通じて学問と社会のつながりを高める

大学教育改革

3.地域協創

課題解決活動



人材輩出

自治体
企業
市民団体

地域活性化の基盤となる
**知の森
プラットフォーム**

人材輩出



信州大学
(地域戦略センター)

地域課題調査からニーズや知の体系化

地域課題
の詳細は？

地域対話
(カケザントーク)

伊那市での
地域対話の開催風景

自治体
連携協議会

長野県・信州大学連携協議会

住民
アンケート

県民3000人を
サンプル地域課題調査

自治体
インタビュー

関係各所
の方々と意見交換

行政の
ニーズは？

地域
ネットワーク
形成

まちなかでの
大学地域連携イベント

学内シーズ
発掘
地域志向型
教育・研究

第1回「信州大学見本市」

地域の課題
解決研究

木曽エコパーク申請
検討委員会

学びに必要な
学内外の知と
人材の繋がり

地域プロゼミの目標：知の循環を形成

大学と地域の
連携型学習

・
知の循環を
形成することを
目指します。



学び直し



皆様はそれぞれ様々な経験知をお持ちだと思います。しかし、それは必ずしも言葉にならなかったり、人に伝えられないものになっていませんか。このゼミを通じて大学の理論知と皆様の経験知を融合し、新しい知の創造や知の体系化を行いたいと思います。それがこれからの信州の未来を創る課題解決の鍵となるはずです。

平成26年度は、

中山間地域の未来学 I

芸術文化の未来学 I

環境共生の未来学 I

を学習テーマとします

地域プロゼミ



大学院へ進学し、経験知の
高度形式知化や研究開発

信州大学の地域志向授業の
講師や地域プロゼミ講師

地（知）の拠点 信州大学

地域課題解決のパイオニア
として“学修”の実践活用

教育



人材育成は本人だけで終わりではありません。知は常に継承されて始めて価値あるものになります。そのため地域プロゼミ修了者には、信州大学の地域志向教育授業、地域プロゼミでの講師を担っていただくことをプログラムに組み込んでいます。ただし、人に教えるためには、自身が本当に理解しなければなりません。教えることを通じて真の学修を達成することも本プログラムの特徴です。

地域プロゼミは、純粹に知識欲を満たしたり、生きがいづくりのための講座ではありません。修了後は各自あるいは修了生同士が協力し、それぞれの抱える地域課題解決に取り組んでいただくことが前提です。ただし、実践には様々な課題が伴います。そのため、信州大学地域戦略センターでは修了後もフォローアップ期間を設定し、追加の学習機会や相談、協力に応じて実践活動を促進します



実践



地域プロゼミ：カリキュラム構成

北信地域

中山間地域の未来学Ⅰ

中山間地域には、複合的で多領域に及ぶ課題が生じています。その課題に取り組む人材（キーパーソン）の有無は、地域や集落の現状を大きく左右します。本講座では、次代の中山間地域のキーパーソンとなりうる人材を育成します。受講生は、「地域資源・魅力の発見力」をコアスキル、「ブランディング力」「体験型プログラムの企画力」をサブスキルとして習得することを目標に学びを深めます。

本講座は、(1) 地域の今（課題や地域資源）を知り、地域の未来を考えるための視点を提供する。(2) 中山間地域をフィールドとして地域住民を巻き込みながら実習を行うことで実学を提供する。(3) グループでの学習と中山間地域で活動する講師やフィールド住民との交流により、地域での取り組みに向けた動機付けを高めネットワークを構築する。(4) 各講座に民・官・学から複数の講師陣を配し、カリキュラムの中でも新たな可能性や視点を広がりを図る、以上4つの特徴をもちます。

講座概要

内容：中山間地域の未来学Ⅰ
「やまざとと地域資源をどう生かすか～上流から下流まで～」

期間：2014年11月～2015年2月（予定）
場所：信州大学工学部キャンパス、長野市七二会地域ほか
受講料：無料（教材費・交通費等は参加者負担）

募集概要

対象：現在中山間地域で活動をしている方、これから中山間地域で活動をしたいと考えている方など本テーマに関連意識を抱え、学習し行動する意思のある方、原則として全ての講義・演習を受講できる方

定員：最大30名
（志望動機等を確認し選考のうえ、受講者を決定します）

※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。

講座内容	※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。
第1回	地域公開講座 長野県における中山間地域の現状と取り組み
第2回	地域公開講座 「空き家」から見通す人口減速
第3回	フィールド講義 M 部のハウス・ライフヒストリー
第4,5,6回	フィールド講義+実習 地域における会話と対話～地域資源カードづくり～
第7,8,9回	フィールド講義+実習 食とブランディング～地域資源をどう伝え、どう活かすか～
第10,11,12回	フィールド講義+実習 ランドスケープ・ワークショップ～やまざと遊び/やまざと道具をつくらう～
第13回	地域公開WS 地域課題発見！「カケザン・トーク」
第14回	企画立案 未来の地域へ今できること①
第15回	発表会 未来の地域へ今できること②

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター
信州大学地域戦略センター
教育学部 研究員 白神長子
工学部 研究員 新 雄太
カリキュラム・アドバイザー
信州大学工学部 教授 天野良彦

内容に関する問合せ先

信州大学地域戦略センター
中山間地域コース（担当：風間）
電話：026-269-5178
（受付時間：平日 09:00～16:00）
ファクス：026-269-5007
メール：COCpro@shinshu-u.ac.jp

中・東信地域

芸術文化の未来学Ⅰ

芸術文化への取り組みを通して、「地域」がもつ課題の解決や「地域づくり」につなげられるよう、地域資源に着目し、地域やステークホルダーの取り組みを俯瞰しながら調整をとり、芸術文化の作り手と受け手をつなぐ役割を担う市民プロデューサーを育成します。

地域らしさやイメージを作り出すのは地域の歴史風土・文化芸術であると考えられる市民は多いですが、定期的に文化芸術の鑑賞や活動に参加している市民は限られます。また個々の活動が点在しており、それぞれをつなぐ役割が期待されています。そのため地域全体を見渡しながらかつ調整をとり、芸術文化と市民をつなぐ役割を担う市民プロデューサーの育成は重要です。本講座では、地域づくりや地域の課題解決に向けて、地域資源に着目しながら活動できる市民プロデューサーに求められる「企画構想力」「コーディネート力」「発信力」「資金調達力」「マネジメント力」等を育成します。

講座概要

内容：芸術文化の未来学Ⅰ
「地域をつくる市民プロデューサー～地域資源を活用しまちづくりにつなげる～」

期間：2014年11月～2015年2月（予定）
場所：信州大学松本キャンパス、信州大学繊維学部キャンパス、松本あがたの森文化会館、上田サントミュージゼほか
受講料：無料（教材費・交通費等は参加者負担）

募集概要

対象：芸術文化活動を通じて地域の課題解決やまちづくりに関心がある方、人や活動をつなぐ、地域の中に深く定着した芸術文化活動を生み出したい方、本テーマ分野に関連意識を抱え、学習して行動する意思のある方、原則として全ての講義・演習を受講できる方

定員：最大30名
（志望動機等を確認し選考のうえ、受講者を決定します）

※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。

講座内容	※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。
第1回	オープニング講座 地域が必要とする市民プロデューサー
第2,3,4回	現状を知るワークショップ 地域の芸術文化活動と地域資源・地域課題
第5,6,7回	シリーズ講義 市民プロデューサーに求められるスキル① コーディネート力、ワークショップの設計・関与力
第8,9回	企画立案演習① 企画内容を磨く！ポスターセッション
第10,11,12回	シリーズ講義 市民プロデューサーに求められるスキル② プロジェクトマネジメント・ボランティアマネジメント・情報発信
第13,14回	企画立案演習② プロジェクトマネジメントを磨く！ポスターセッション
第15回	発表会 地域をつくる市民プロデューサー

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター
信州大学地域戦略センター
松本本部 上席研究員 田村守康
繊維学部 研究員 松浦俊介
カリキュラム・アドバイザー
信州大学文学部 教授 笹本正治

内容に関する問合せ先

信州大学地域戦略センター
芸術文化コース（担当：平野）
電話：0268-21-5454
（受付時間：平日 09:00～16:00）
ファクス：0268-21-5374
メール：COCpro@shinshu-u.ac.jp

南信地域

環境共生の未来学Ⅰ

「環境共生の未来学」では、「動物が住処とする山」と「人間が利用する山」の境界で生じている社会・自然環境の変化を理解し、山と動物が共生する社会を構築できる地域人材を育成することを目的とし、信州における人間の生産活動や動物の行動パターンについて、歴史的視野から理解する産学や、野外観察から学ぶフィールドワークを実施します。

本講座では、山に暮らす動物たちや人間の環境がどのような現状であるかを理解する能力（山に暮らす生き物が発する言葉を読み取る能力）を習得することを重点課題とし、山と生き物が発する言葉の翻訳力、実用技術力、体験型プログラムの企画運営能力、地域の合意形成を導く能力の育成に活用するための基礎的スキルを得ることを目標としています。

講座概要

内容：環境共生の未来学Ⅰ
「動物と人間は共生可能か～山に暮らす生き物からのメッセージを読み取る～」

期間：2014年11月～2015年2月（予定）
場所：信州大学農学部キャンパス、信州大学手良沢山演習林、伊那市手良地区、長野市川島地区ほか
受講料：無料（教材費・交通費等は参加者負担）

募集概要

対象：これまで「餌」や「有害鳥獣被害」に参加したことがないが関心のある方、農林業に関連する仕事に従事してきたが、山に暮らす動物たちの生態について学びたい方、本テーマ分野に関連意識を抱え、学習し行動する意思のある方、原則として全ての講義・演習を受講できる方

定員：最大30名
（志望動機等を確認し選考のうえ、受講者を決定します）

※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。

講座内容	※開催日時・講師等は一部調整を含むため、詳細はホームページでご確認ください。
第1回	地域公開講座 信州における山岳の生態の変遷
第2回	地域公開講座 信州におけるニホンジカの調査史
第3,4回	フィールド講義+実習 山に暮らす動物たちの生活誌
第5,6回	フィールド講義+実習 山に暮らす動物たちの行動調査
第7,8回	フィールド実習 集落ぐるみで有害鳥獣被害対策を行う先進地域フィールドワーク
第9,10回	対談 山の生態とまちの生態の連携～地元猟師、農家、飲食店業者との対談から学ぶ～
第11,12,13回	フィールド実習 食肉解体施設の見学と体験
第14,15回	対話 まとも対話ワークショップ～動物と人間が共生する社会を構築するために～

講座スタッフ

カリキュラム・コーディネーター
信州大学地域戦略センター
農学部 研究員 堀島万紀
カリキュラム・アドバイザー
信州大学農学部 准教授 竹田謙一

内容に関する問合せ先

信州大学地域戦略センター
環境共生コース（担当：宮崎）
電話：0265-77-1524
（受付時間：平日 09:00～16:00）
ファクス：0265-77-1647
メール：COCpro@shinshu-u.ac.jp